

第303号

HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員
鳥居良貴 / 増井 裕 / 市丸加奈子 / 石野瑠璃
小松敏也 / 松田武史 / 真田浩一 / 藤本宏巳

臨床検査情報センター
URL <http://www.hamt.or.jp>

今月号の内容

- 日臨技 来年度事業は検査説明、検体採取、学術活動の国際化が柱 1~2
- 《各部局報告》 2~3
- 《行事予定表》 4~5
- 《賛助会員コラム》・お知らせ・《求人情報》 6~7

日臨技 来年度事業は 検査説明、検体採取、学術活動の国際化が柱

「検査説明・相談のできる技師育成」「検体採取」の取り組みをさらに会員間に浸透させることや、2016年8月に神戸で開催される世界医学検査学会(IFBLS学会)に向けて学術活動の国際化を進めることが柱となります。また、日臨技宮島会長は新規事業として、認定救急検査技師制度の創設も盛り込んだ会長私案を全国幹事連絡会議で提示、必要な修正を加えて事業計画案を策定し、5月の総会にて正式に決定されます。

検査説明・相談のできる技師育成事業については、チーム医療推進検討委員会からの答申を踏まえて、2013年12月に各都道府県の企画担当者に対する講習会を行いました。14年度は各都道府県で育成講習会が開かれており、兵庫県でも2014

年12月13日(土)・14日(日)に兵庫医科大学にて開催いたしました。日臨技は14~16年度の3年間で約5000人の講習修了を目標にしており、15年度も引き続き講習会を予定しています。

検体採取については、受講が義務付けられている厚生労働省の指定講習会が全国各地で始まっており、5月末までに約6000人が修了する見通しです。日臨技は5万人の受講修了に向けて着実に取り組む考えを示しています。さらに、15年度は会員・医療機関・国民を対象に検体採取に関する普及啓発活動も行っていくようです。近畿圏では大阪にて2015年5月9・10日、6月20・21日、8月29・30日、10月24・25日、11月14・15日、2016年1月23・24日に開催を予定しています(詳しくは日臨技ホームページをご覧ください)。

16年は神戸でIFBLS学会と日本医学検査学会が併催されます。同時期には日本臨床検査医学学会学術集会、日本臨床検査学教育学会学術大会が開催されるほか、会期中は例年通り、臨床検査機器や試薬、システムの展示も行われます。宮島会長は「日本の臨床検査の学問、現場、教育、

2016 IFBLS
The 32nd World Congress of Biomedical Laboratory Science
International Innovation of Laboratory Medicine
- Basic and Advanced -
August 31 - September 4, 2016
Kobe, Japan
Kobe International Conference Center
Kobe International Exhibition Hall

Chairman:
Yoshifumi Miyajima
Japanese Association of Medical Technologists (JAMT) President

Executive committee
Chair: Ryoko Kuroda
Members: Shiroaki Nagasawa, Yoji Nakamichi, Hiroyuki Matsumoto, Ayumi Igaki, Minoraki Katayama, Koji Yamamoto, Hideo Sakamoto, Yui Nakamura, Shigeki Mizawa

Congress Secretariat
Japanese Association of Medical Technologists (JAMT)
<http://www.jamt.or.jp/IFBLS/>



開発が一体となった学術的な祭典になる」とし、神戸開催に向けて関連団体との連携を強めていきたいとの考えを示しています。また、学術活動の国際化にも重点的に取り組み、今後は国際的に活躍できる人材の育成が課題になるとし、海外短期留学制度の創設に向けて着手したいと考えています。

新規事業としては、認定救急検査技師制度の創設、血液や病理部門への標準化事業の拡大、病棟での業務実態の検証などを盛り込んでいます。こ

のうち認定救急検査技師は、日本救急検査技師認定機構が実施していた認定制度を日臨技認定センターで継承することになります。

(平成27年3月1日発行 THE MEDICAL & TEST JOURNAL より抜粋)

各局局報告

広 報

検体採取、「実施予定」16% 経営管理学会委員会が調査 58%は「今後検討」

全国病院経営管理学会の臨床検査業務委員会が行った調査結果で、4月から解禁される検体採取を「検査室業務に取り入れる予定」とした回答が、制度改正を認知している施設の16.7% (21施設) だったことが分かった。「今後の検討課題としている」を含めると75%超に上り、前向きな姿勢の施設が多いとみられる結果だった。

(平成27年3月11日発行 THE MEDICAL & TEST JOURNAL より抜粋)

検体測定室、15%にガイドライン違反 自己点検で判明、厚労省が徹底再要請

簡易血液検査を行うため薬局などが届け出た検体測定室を対象に、厚生労働省が測定業務を行う際のルールを定めたガイドラインを順守しているか自己点検を求めた結果、15.0%に違反が見られたことが分かった。測定室と他の場所を区別するついたてを設置していなかったり、器具全体がディスプレイになっていない穿刺器具を使っていたりといった衛生管理面での違反が多かった。厚労省は2月18日、検体測定室の運営責任者に対し、自己点検の集計結果を通知した。衛生管理の徹底をあらためて要請するとともに、新たに開設した検体測定室にも自己点検の実施を求めた。今後も定期的にガイドラインの順守を徹底したい考えである。

(平成27年3月1日発行 THE MEDICAL & TEST JOURNAL より抜粋)

組 織**第24回東播地区検査研修会に参加して (2月14日)**

松本 尚子 (明石市立市民病院)

一般演題の発表では、細菌や病理に関する演題が多く、日常生理検査に携わっている私にとってはとても新鮮な内容であり、検査の幅の広さと奥深さを改めて感じました。また、他病院で働く技師の方々の日々仕事に励む姿が想像でき、今後仕事をしていく上で非常に良い刺激になりました。

教育講演では、「DIC 診断基準暫定案について」について金田幸枝先生(積水メディカル株)の教育講演があり、診断基準の項目について一つ一つ詳しい説明がありました。今までの不確かな知識がより確実なものになり、大変有意義な時間となりました。

研修会后、会場となった北播磨総合医療センターの見学をさせていただきました。検体検査室、生理検査室共に非常に明るくてスペースが広く、効率の良い動線が考えられていました。患者さんにとっても、働く職員にとっても非常に良い環境だと思いました。

最後に、今回このような研修会を開催していただきありがとうございました。今後も研修会には積極的に参加し、さらなる知識と技術の向上に努めたいと思います。

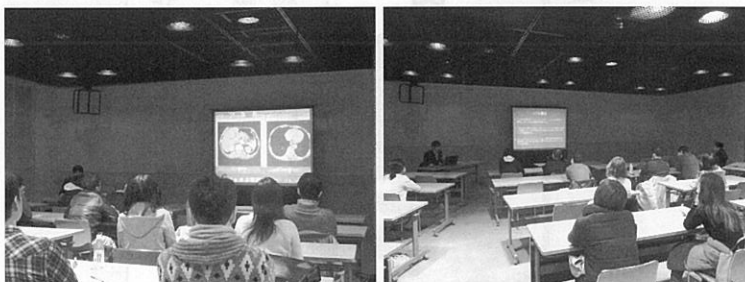
**第5回西播地区グループ研修会を開催して (2月20日)**

衣笠 愛二 (姫路市医師会)



今回の西播地区グループ研修会ではCTのお話が聞きたいという要望から、姫路赤十字病院の放射線科辻井 貴雄 先生を講師にお招きし、「肝胆道系のCTの見かた」と題し、内容は「CTの特徴(基礎、造影理論、肝臓疾患、胆のう疾患)」について講演していただきました。放射線技師から見たCTとエコーの違いの見解などもお話いただき興味を引きました。参加者は25名で、熱心にメモをとり有意義な研修会になりました。

途中休憩はありましたが、講義に加えCT画像や動画を時間一杯まで多く見せていただいたため、質疑応答の時間があまりとれませんでした。今後、講義後の質疑応答や討議を活発に行い、組織部事業として施設間や参加者間の交流を深められる進行に努めたいと思います。



賛助会員

ヨリム [36]

ニットーボーメディカル(株)

Nittobo

高度化、多様化する顧客ニーズに応じて

西森 丈二 (大阪営業所)

私たちニットーボーメディカル(株)は1987年8月に創業して以来、多様化する医療ニーズに応える為、病院検査室や検査センターなど、医療機関への情報の提供や収集、またユーザーと一体の製品開発を進めるなど、信頼性の高い試薬の提供に努めて参りました。

生化学項目では、液状の生化学汎用分析装置用試薬を「N-アッセイ」ブランドで世に送りだし、血漿蛋白項目では免疫比濁法やラテックス比濁法を用いたCRP測定試薬、免疫グロブリン測定試薬、尿中微量アルブミン、トランスサイレチン(プレアルブミン)等もご好評をいただいております。

また時代の変化に対応すべく、2011年4月1日をもって機能性高分子等の製造販売を行う日東紡スペシャリティケミカルズ事業を承継致しました。これまで培った高分子の技術を医薬の分野に応用することで、事業領域を拡大させ、お客様のニーズに応えられる商品開発を積極的に展開していく所存です。

その成果のひとつとして、現在普及しつつある質量分析器を用いた細菌迅速同定用の前処理キット「rapid BACpro」の販売を予定しております。このキットはスペシャリティケミカルズの開発した機能性ポリマーを活用し、標準的なプロトコルよりも短時間で効率的に集菌できる製品となっております。

弊社製品の詳細に関しましては営業担当もしくはホームページをご覧ください。



抗血清の研究開発・生産のため飼育されているヤギ

お知らせ

/// 会員への“学術情報 WEB配信”について

当会は「学術事業」をより充実し、情報提供拡大を図るために、会員の皆様へのWEB配信による学術情報を試験的に配信しております。今後は、さらに多くの賛助会員の皆様に広くご支援いただき、技師会員と賛助会員双方の良い面が相乗効果として発揮されるよう取り組む意向です。多くの会員の皆様に参加していただけますようお願い申し上げます。なお、閲覧には登録が必要ですので、下記の要項に従い、お申し込みください。

1. 申し込み方法：技師会事務所 info@hamt.or.jp までメールにて申し込みをお願いします。
件名には「学術情報WEB配信希望」と入力し、本文には会員番号、氏名、ふりがな、所属施設名、メールアドレスを入力してください。折り返しID、パスワードをメール返信いたします。
2. 費用：無 料
3. 問い合わせ先：(公社)兵庫県臨床検査技師会事務局
TEL：078-271-0255 FAX：078-271-0256 E-mail：info@hamt.or.jp

技師会の講演会・研修会などを配信中。
パソコン、タブレット、スマートフォンで、
場所や時間を選ばずに視聴ができます。



配信動画 一覧 (2013/6 現在)

丹波地区研修会ビデオ
～コミュニケーションスキルとリーダーシップ～
「乳癌を検査する」
「増え続ける乳がんのお話」
「聴力検査に役立つ臨床知識」
「今一度見直す弁膜症評価」
第1回 これだけは押さえて！精度管理～総論～
第2回 ～内部精度管理の実践①～
第3回 ～内部精度管理の実践②～
第4回 ～トレーサビリティと不確かさ～
測定の不確かさセミナー
測定の質を保證する3つの取り組み
eQAPIについて
SOP作成セミナー
ISO15189規格解説ビデオ
今後も拡充していきます。

<新規公開動画>

- ◆Kobe 血尿症例のアプローチ
- ◆臨床検査技師に対する輸血教育について
- ◆看護師に対する輸血教育について
- ◆インシデント報告から過誤防止に関する指導と教育について
- ◆血尿診断ガイドライン2013について
- ◆医師に対する輸血教育について

求人情報

*詳細は求人先に各自お問い合わせください。

●三好病院

交 通：JR甲子園口駅下車 徒歩5分
採用条件：正社員
業務内容：検査業務全般
連 絡 先：0798-67-3505 (人事 池田)

●医療法人喜望会 谷向病院

交 通：阪急・阪神今津駅下車 徒歩5分
採用条件：正職員
業務内容：採血、検体検査、生理検査
連 絡 先：0798-33-0345 (事務部長 伊藤)

●(医・社)吉徳会 あさぎり病院

交 通：JR明石駅下車 バス15分
採用条件：正社員
業務内容：臨床検査・生理機能検査・健診業務
連 絡 先：078-912-7575 (総務課 黒肱)

●慈恵会 新須磨病院

交 通：JR須磨海浜公園駅下車 徒歩2分
採用条件：パート (週2～3日希望)
業務内容：採血・一般検査
連 絡 先：078-735-0001 (総務課 西本)